



こおりと たいよう

出 3:10~20

神は仰せられた。「わたしはあなたとともにいる。これがあなたのためのしるしである。わたしがあなたを遣わすのだ。あなたが民をエジプトから導き出すとき、あなたがたは、この山で、神に仕えなければならない。(12)

「氷と太陽」というゲームを知っていますか。私が「氷」と叫べば、動くことができないかわりに、鬼も私をつかまえることができません。しかし、「氷」の状態で「太陽」だと叫べば、また動けるゲームです。

はじめの人だったアダムとエバがサタンにだまされて、不信仰になって、神様を離れるようになった瞬間から、サタンの奴隷になり、事実上「氷状態」になってしまいました。この氷がどれくらい固いかわかりますか。模範的な生活を送って、多くの人の尊敬を受ける宗教指導者も、才能が優れていて、多くの人気がある芸術家も、氷を破ることができないだけでなく、閉じ込められていることも知らずに生きています。

まことの太陽が来られました。創世記3:15 女の子孫イエス・キリストが主人公です。出エジプト記3:18 の主人公である小羊イエス・キリストです。イザヤ 7:14 の主人公であるインマヌエルのイエス・キリストです。この方を信じれば、サタンの固い氷が完全に溶けるようになるでしょう。

3 Today

きょうの
みことば

Ⅱ 列 36

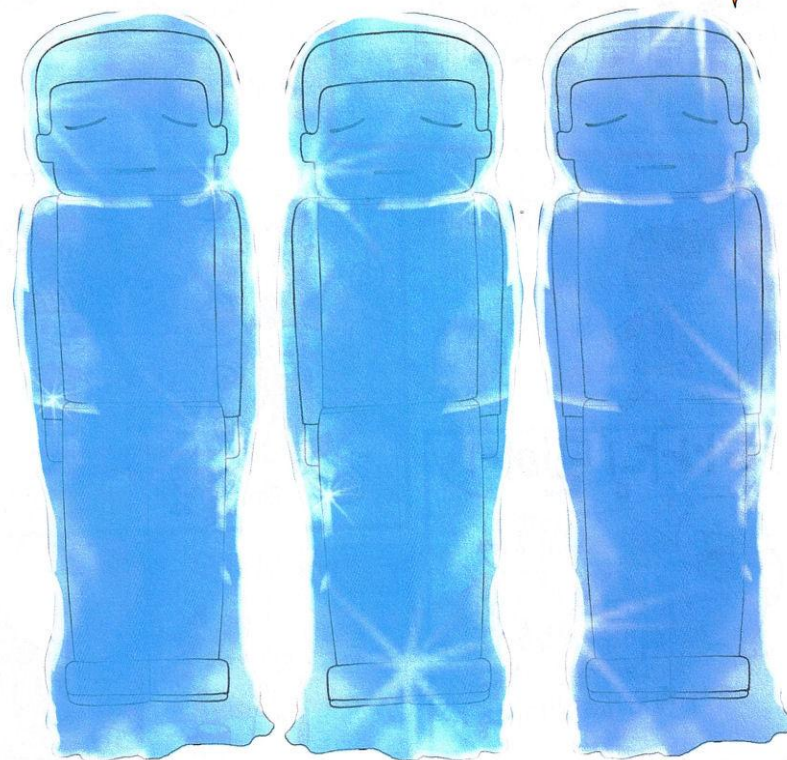
いちにち 1しゅう
からさるの みことばを よもう!

きょうの
いのり

きょうの
でんどう

こおりとたいよう

氷のできた人のすがたに友だちの名前を書いてみよう。友だちの名前をきょう、一日中、おぼえていてイエス・キリストのお名前を祈れば、神様がいのちを生かす時刻表をくださるでしょう!



サタンの権威から解放される道はただイエス・キリストしかないことを信じます。この事実を祈りで味わって、他の人に伝えさせてください。イエス・キリストのお名前によっておのりします。アーメン



わたしも たすける
ことができます

出 18:13~27
さあ、私 の言うことを聞いてくださ
い。私はあなたに助言をしまし
よう。どうか神があなたとともにおら
れるように。あなたは民に代わって
神の前にいて、事件を神のところに
持って行きなさい。

ある日、イテロ長老の家に、髪の毛がぼさぼさになった逃亡者が
来ました。イテロは、逃亡者から驚くべき話を聞きました。「私たち
人間は、運命のくびきと霊的問題とサタンの問題を解決すること
ができないが、神様がキリストを送ってくださると約束されました」
イテロ長老は、福音を悟って恐れが消えて神様の計画を見ることが
できました。それで、逃亡者のモーセを娘のむこととして、モーセに
すべての財産と羊飼いの仕事を任せました。後ほど奴隷だったイス
ラエルの民がエジプトから解放されたらすぐに、モーセを助けるこ
とができたほど、神様の計画を見る人になりました。イスラエルの民
の中で、知恵があつて、力があり、神様をおそれる人を長老とし
て立てて、いっしょにみことばを分かち合い、イスラエルを指導し
なさいという答えをモーセに与えました。

私たちもイテロ長老のように福音を本当に悟ったとすれば、恐
れが消えて神様の計画を見ることができます。それだけでなく、人々
に答えまで与えられるのです。

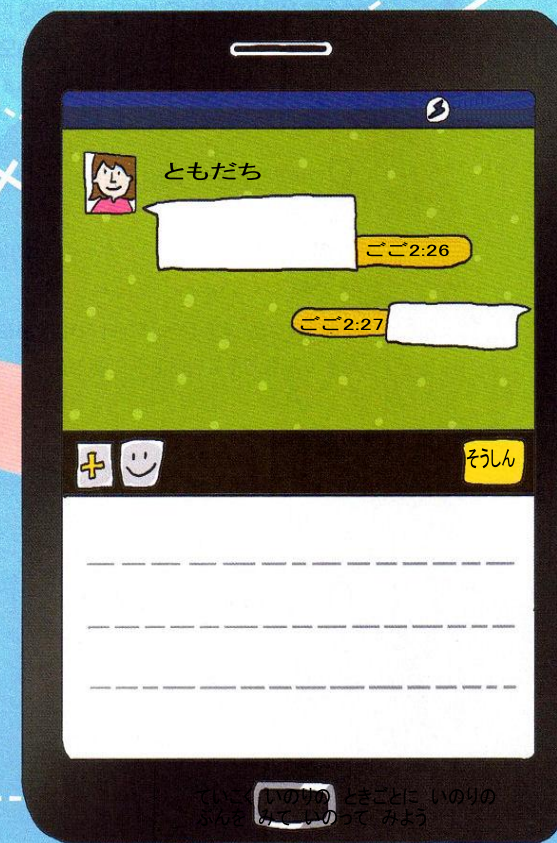


2012.1.8(インマヌエル教会聖日1部)

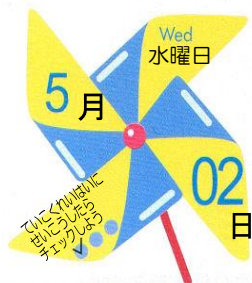
ともだちに わたす
てがみ

イテロ長老のように
福音を悟ったら、神様に
会えなくて苦しんでいる
友だちに答えを
あげたくなるでしょう。
そんな友だちはいますか？

その友だちに送る
手紙を書いてみましょう！



私はまだ小さいけれど、福音を伝えて苦しみの中にいる人たちに答えを知
らせてあげる福音エリートになりたいです。イエス・キリストのお名前によ
っておいのりします。アーメン



とくしゅう! カレブとの インタビュー

ヨシュア 14:6~15

どうか今、主があの日に約束されたこの山地を私に与えてください。あの日、あなたが聞いたように、そこにはアナク人がおり、城壁のある大きな町々があったのです。主が私とともにいてくだされば、主が約束されたように、私は彼らを追い払うことができますよ。』(12)

隠れた働き人としてよく知られていますが、危機のときごとに主役として現れた人物がいます。エジプトから解放されてからカナンの地を征服するまで自分の使命をよくはたしたかカレブに会ってみましょう。

Q 荒野を歩く間、多くの困難があったはずですが、どのように勝ち抜いたのですか？

A 神様が私たちをエジプトから救われました。紅海も分かれて、ヨルダン川も分けられ、エリコも崩れました。神様の力を見て、神様が私とともにおられる事を確信していたので勝つことができました。

Q 「この山地を私にください」アナク山地の前での告白は、本当にすばらしかったです。どうして、そんなに大胆にできたのですか？

A 神様がカナンの地をくださると、たしかに約束されました。神様は、約束を必ず成し遂げてくださいます。

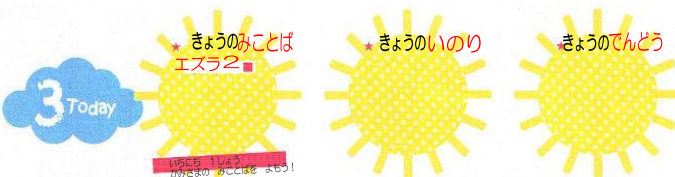
Q モーセが死んだ後に、同僚だったヨシュアにしたがう役割をしたのですが、気に入らないことはなかったのですか？

A メシヤが来られるカナンの地に入るのがまことの答えです（世界福音化）。

ヨシュアを助けてカナンの地に行けるといふこと自体が感謝でうれしいことでした。

Q レムナントに頼みたい話はありますか？

A 毎日キリストを味わいながら（使徒1:1、過越祭）聖霊様の働きを体験してください（使徒2:1、五旬節）そのとき、現場を生かす祝福も味わうようになるでしょう（使徒3:1、収穫祭）。



わたしは 2012ねんの カレブ!

カレブのインタビューを見ましたか？

神様は、私をカレブと同じ、福音を伝えることに用いることを願っておられます。

私は2012年のカレブになるために、なにを準備すればよいのでしょうか。

カレブの姿から、お手本にしたい部分を書いてみましょう。



毎日キリストを味わって、聖霊の働きを体験して現場を生かす信仰を告白したカレブのようなレムナントにならせてください。イエスさまのお名前によっておいのりします。アーメン



じゅうじかで すべてを ささげた イエスさまの め

使徒1:1~8

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

ある田舎の村の入口にケヤキの木がありました。村の住民はケヤキの木は村を守ってくれる神だと思って、いつもおがんでいました。しかしある日、木に雷が落ちて折れて、住民ひとりが折れた木に火をつけたら、ことばが話せないようにさせる悪霊につかれてしまいました。どんなにしても、悪霊は離れないで、しばらくの間、男を困らせました。そのとき、村に住んでいた教会の執事一人がイエス様のお名前をさんびして、その名前で祈ったら、悪霊が逃げて行って、話ができるようになりました。このときから村人がイエス様の力を信じるようになったということです。

イエス様は、このように苦しんでいる現場を見て、十字架で犠牲のいけにえとなって死に、3日後に復活されました。モーセも、ダビデも、イザヤも、パウロも、イエス・キリストでなければ現場を生かすことができないと思いました。彼らは祈りの時間に神様とキリストの唯一性で通じました。教会は聖霊の満たしによって神様と通じ、世の中とも通じて、現場を生かす祝福を味わうでしょう。イエス様の目と心を持って、神様と通じるレムナント宣教師になりましょう。

3 Today

★きょうのみことば
エズラ3■

★きょうのいのり

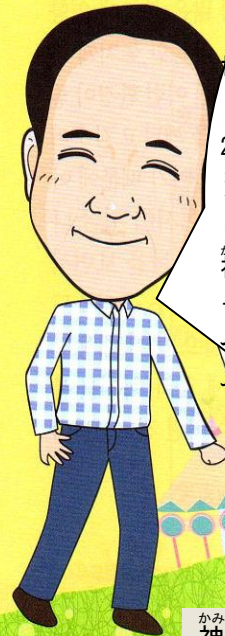
★きょうのでんどう

キム・ナンハバくしせんせいとともに

ひそひそこころをあけてたいわしよう！

裏面契約って
なんですか？

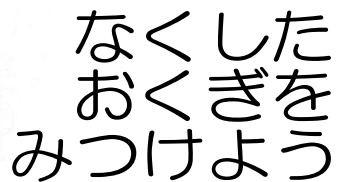
チェ・コウン
センミョンセン教会



目に見えることも重要ですが、それより、目に見えないことがさらに重要です。ヨセフは総理でしたが、事実はいのちを生かす伝道者でした。ダビデは王でしたが、事実には神様の契約の箱をおく神殿を作る伝道者でした。表面に現れないけれど、かならず成される神様との約束を裏面契約と言います。世の人は、あらゆる霊的問題と精神問題で苦しんでいます。このとき、レムナントはどんな裏面契約を握っていますか。牧師先生も、1ヶ月に2、3度はコンピュータで遊ぶ場所に通います。そこには、たくさんのお友だちがゲーム中毒で生活が崩れていて、放っておかれたまま助けも受けられないで無気力の生活を未来をあきらめたまま生きています。神様は残った者レムナントを通して、暗やみの文化時代にさまよう友だちを生かすことを願っておられます。イザヤ 60:1~3 の「起きよ。光を放て」そして、イザヤ 60:22 の「時が来れば、わたし、主が、すみやかにそれをする。」というみことばのように、神様はレムナントを通してキリストの光があらわれることを望んでおられます。日曜のみことばで小さい実践を見つけて<子どもの祈りの手帳>で今日のみことば、祈り、伝道を見つけ出したら、神様はこの世の人が知らない唯一の祝福と答えをくださるでしょう。

神様と通じて、神様の目と心で未来を見るとき、神様がくださる裏面契約を発見することができます！

イエス様が十字架につけられて、小羊のように犠牲のいけにえになると決断されて、すべてのことを負ってくださった義をさとって見るようになります。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



私^{わたし}の福音^{ふくいん}とイエス・キリスト^{イエス キリスト}の宣教^{せんきょう}によって、
 ずなわち、世^よ々にわたって長い間^{かん}隠^{かく}されてい
 たが、今^{いま}や現^{あらわ}わされて、永遠^{えいゑん}の神^{かみ}の命^{いのち}に
 従^{したが}ひ、預言者^{よげんしや}たちの書^{しよ}によって、信仰^{しんいう}
 に従^{したが}うに導^{いどう}くためにあらゆる国^{くに}の人々^{ひとたち}に知ら
 された奥義^{おくぎ}の啓示^{けいじ}によって、あなた^{あなた}がたを堅^か
 く立たせることができる方^{かた}、知恵^{ちゑ}に富む唯一^{みづか}
 の神^{かみ}に、イエス・キリスト^{イエス キリスト}によって、御来^{みきた}えがと
 こしえまでありますように。アーメン。

(かんにちさんびか470ばん)

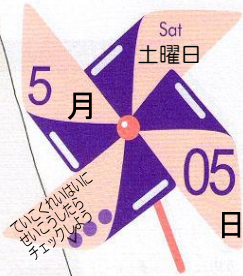
1 し ず け き か わ の きー し べ を す ぎ ゆ く
2 む ら が る あ だ は の け り と か こ め ど
3 う れ し や 十 字 架 の 一 う え に わ が つ み
4 お お ぞ ら は ま き さー ら れ て ち は く

と き に も う き な や み の あ ら う み を
せ む れ ど い さ な う の ひ し め き は
は し に き す ぐ い の み ち あ ゆ む み は
る と き つ み の こ ら は さ あ ぐ と も

わ た り ゆ く お り に も
の ぞ み を く だ く と も こ ころ (こころ)
ま す ら お の ご と く に
か み に よ る み た み は

や す し (やすし) か み に よ り て や す し

わたし ふういん かんきょう なか い じだい ひと い
 私 たちは福音をのがしてしまった環境の中にいます。このような時代に人を生
 かす福音の奥義が私のたましいと教会と現場に現れますように。イエス・クリ
 ストのお名前によっておいのります。アーメン



ごかい しないで

バラ国の男の人とクリ国の女の人がお見合いをしました。二人は、チューリップ国のことばで対話しました。へたなことばで対話したのですが、二人は目でやりとりしながら、おたがい^{あひ}が愛^{あい}していると確信^{かくしん}しました。二人が別れる^{わか}時^{とき}になって、クリ国の女の人^{こく おんな ひと}が心^{こころ}で思^{おも}いました。「この方^{かた}は私^{わたし}の理想^{りそう}だ。考^{かんが}えることも私^{わたし}と合^あっている。一生^{いっしょう}、いっしょにいたいな」

バラ国の男の人^{こく おとこ ひと}も同じ^{おな}ように考^{かんが}えました。「一生^{いっしょう}、会^あうことができない最高^{さいこう}の女性^{じよせい}だ。この女性^{じよせい}と結^{けつ}婚^{こん}したい」

二人^{ふたり}が家^{いえ}に帰^{かえ}る前^{まえ}にバラ国の男の人^{こく おとこ ひと}がクリ国の女の人^{こく おんな ひと}に握^{あく}手^{しゅ}を求^{もと}めました。

バラ国の男の人^{こく おとこ ひと}は、遠慮^{えんりょ}しながらクリ国の女の人^{こく おんな ひと}の手^てを強^{つよ}くにぎりました。

バラ国^{こく}では、手^てを強^{つよ}くにぎるなら、愛^{あい}の告白^{こくはく}だと受け入^うれられ^いるのです。しかし、クリ国の女の人^{こく おんな ひと}はバラ国の男の人^{こく おとこ ひと}の握^{あく}手^{しゅ}を受け^うけて驚^{おどろ}きました。

「えっ?なぜ手^てをぎゅつとにぎるの?
私^{わたし}がきらいなの?」

クリ国^{こく}では握^{あく}手^{しゅ}をするとき、ぎゅつとにぎれば「あなた^{けいかい}を警戒^{しんらい}します」
「あなた^{しんらい}を信^{しん}頼^{らい}しません」
という意味^いだからです。

クリ国の女の人^{こく おんな ひと}は自分^{じぶん}一人^{ひとり}だけバラ国の男の人^{こく おとこ ひと}を愛^{あい}したと思^{おも}って顔^{かお}が赤^{あか}くなったま^{わか}別^{わか}れました。
バラ国の男の人^{こく おとこ ひと}は愛^{あい}しますという表^{ひょう}現^{げん}をしたのに、クリ国の女の人^{こく おんな ひと}が行^いってしま^{しつぽう}ったので、失^{しつ}望^{ぽう}したま^{しつぽう}まクリ国の女の人^{こく おんな ひと}を見送^{みおく}りました。

私^{わたし}たちもそれぞ^{きじゆん}れの基^{かんが}準^{ごかい}と考^{かんが}えで誤^ご解^{かい}していま^{ごかい}せんか。
神^{かみさま}様^{わたし}は私^{わたし}たちにもっともよ^{かみさま}いことにく^{ごかい}ださるのに、私^{わたし}たちのせ^{かんが}まい考^{かんが}えに縛^{しば}られて神^{かみさま}様^{ごかい}を誤^ご解^{かい}しないようにしま^{ごかい}しょう。

